

# 平成30年度事業報告

平成30年度事業計画（平成30年4月1日～平成30年3月31日）に基づき実施した事業の概要について報告する。

## 1 総括（国体警備の完遂、警備員不足対策の推進、警備員教育の更なる充実）

昨年度は、秋に開催された福井しあわせ元気国体・障スポ大会の成功に向けて警備業界が一丸となって取り組み、国体警備という困難な課題を無事に成し遂げることができたが、協会では、会議場所の提供、他県協会や関係機関等への協力要請、警備本部や警備現場への激励等を積極的に推進した。

また、業界の深刻な人手不足問題への対策の一環として、平成30年5月28日、福井労働局が主導する「人材確保対策協議会」に入会し、同協議会の企画による「サマー求人企業説明会」等の各種取組を積極的に推進した。

一方、警備員教育の面においては、新教本（施設警備業務2級、交通誘導警備業務2級）に基づく特別講習の充実に努め、検定の平均合格率が72.7%、前年比で6.8ポイントの増加で、全国平均（63%）を大きく上回る実績を収めた

また、平成30年10月27日、検定合格率の向上や講師自身のスキルアップ等を目的に、「特別講習講師による教育研究会」を開催し、警備員教育の更なる充実に努めた。

## 2 組織の充実強化

### (1) 会員数

#### ア 正会員

平成30年度の正会員数は、3社が退会、新たに1社が入会し、計49社（49社中、1社は9条後段業者）となった。

引き続き、組織の基盤を強化するため、労務単価の向上を始めとする勤務環境の改善等に努めながら勧誘活動を促進していく。

（平成31年4月1日現在）

	4条業者	9条前段業者
県下認定業者数	55社	22社
協会加盟社数	36社	12社
協会加盟率	65.5%	54.5%

（注：協会加盟社数+1社「9条後段業者」）

(2) 業界連携

ア 全国警備業協会及び他県協会との連携

平成30年度は、特別講習等教育事業の効果的な推進をはじめ、適正警備業務の実施、暴力団等反社会的勢力に関する情報収集や排除活動の推進、社会保険未加入問題への対応、「11.1 警備の日」の広報活動への取組等に関する連絡調整やアンケート調査等を通じ、会員と全国警備業協会等との間で緊密な連携を図った。

イ 業界会議等への出席

業界の当面の諸課題等を協議するため、次の会議に関係者を派遣した。

月日	場所	会議の名称	備考
4.19	愛知県	春季中部警協連合会会長等会議	会長、専務
6.6	東京都	全警協理事会、定時総会	会長
7.4	東京都	全国警備業協会春季専務理事会議	専務
7.30	東京都	適正取引自主行動計画の県代表者会議	エスライン(株)石山氏
9.20	東京都	全国警備業協会理事会	会長
11.2	東京都	「警備の日」全国大会	(株)エル水戸守氏、専務
11.7	三重県	秋季中部警協連合会会長等会議	会長、エスライン(株)石山氏、専務
11.26	東京都	特別講習の在り方に関する意見交換会	専務
12.5	東京都	全国警備業協会理事会	会長
1.31	石川県	北陸3県会長等会議	会長、専務
2.8	東京都	全国警備業協会事務担当者会議	主事
2.27	石川県	中部警協連合会事務担当者会議	専務、主事
3.28	東京都	全国警備業協会理事会	会長

(3) 会議・委員会等の開催

各種事業の効果的な推進を図るため、委員会等を次のとおり開催した。

月日	場所	会議の名称	協議事項等	出席者
4.25	葵分庁舎	県職防連幹事会	平成31年度事業計画等の承認	専務
5.8	協会	公安委員会受託講習講師担当者会議	・平成31年度指教責講習等の講師委嘱と推進要領の協議	副会長 専務等
5.15	葵分庁舎	暴追センター理事会	・平成31年度事業計画等の承認	専務
	協会	第1回総務委員会	・理事会提案案件の協議	12名
5.17	福井消防局	普通救命講習会	・普通救命講習の受講	50名

5. 21	葵分庁舎	県安全安心まちづくり推進会議幹事会	・安全安心まちづくり推進旬間の取組計画	専務
5. 22	協会	第1回理事会	・定時総会上程議案の承認	15名
5. 28	県合同庁舎	人材確保対策推進協議会	・福井労働局、関係団体等と人材確保対策の協議	総務委員長他
5. 29	福井県 県民ホール	平成30年度定時総会（決算）	・H29年度事業報告の可決 ・H29年度収支計算の可決 ・H30年度事業計画(案)の承認 ・H30年度収支予算(案)の承認	59名
		第2回理事会	・新役員による会長選出	12名
6. 10	産業会館	合同就職説明会	・業界PRと警備員の募集	専務他
6. 11	葵分庁舎	暴追センター緊急理事会	・緊急案件の承認	専務
6. 13	葵分庁舎	不当要求防止責任者講習会	・暴追関係講義の受講	38名
		テロ防止連絡主任者講習会	・テロ防止にかかる講義の受講	38名
7. 7	敦賀	サマー求人企業説明会	・業界PRと警備員の募集	3名
7. 8	福井、奥越	サマー求人企業説明会	・業界PRと警備員の募集	8名
7. 12	福井総合運動公園	福井テロ対策パートナーシップ推進会議	・テロ防止に向けた講義、訓練視察	専務他
7. 14	坂井、丹南、小浜	サマー求人企業説明会	・業界PRと警備員の募集	10名
9. 29	福井運動公園	福井国体開会式	・開会式	会長他
10. 9	福井運動公園	福井国体閉会式	・閉会式	会長他
10. 13	福井運動公園	障スポ開会式	・開会式	会長他
10. 15	福井運動公園	障スポ閉会式	・閉会式	会長他
10. 23	協会	交通委員会	・安全パトロール実施計画等	12名
10. 27	協会	教育研究会	・特別講習講師による研究、訓練	15名
10. 30 ~ 31	県内	交通委員会安全パトロール	・福井県内5地区の交通誘導警備現場の安全点検	19名
11. 2	プラザ萬象	暴追県民敦賀大会	・暴力追放県民運動への参画	30名
11. 14	葵分庁舎	暴排対策委員会	・H31年度活動方針及び事業計画(案)の承認等	9名

11. 22	協会	労務委員会	・平成 30 年度「労働災害防止応募作品」の審査 ・第 16 回安全衛生大会(案)	11 名
12. 9	フェニックスプラザ	わかもの就職応援説明会	・業界 P R と警備員の募集	3 社
12. 12	福井	特別講習講師意見交換会	・特別講習に係る意見交換	26 名
1. 17	ウェルアオッサ	経営者研修会 労働安全衛生大会 新春情報交歓会	・立入検査等の結果に基づく業法上の運用と留意点 ・来賓、会員等との情報交歓	57 名
2. 12	協会	教育委員会	・H31 年度講習計画等	12 名
2. 20	福井南高校	就職説明会	・警備業の紹介と警備員の募集	専務他
2. 28	葵分庁舎	暴追センター理事会	・平成 30 年度事業報告等の承認	専務
3. 5	協会	第 2 回総務委員会	・第 3 回理事会提案案件の協議 (平成 31 年度事業計画(案)及び収支予算(案))	12 名
3. 14	協会	第 3 回理事会 (予算)	・H31 年度事業計画(案)の承認 ・H31 年度収支予算(案)の承認	14 名
3. 21	エルパ	就職説明会	・業界 P R と警備員の募集	専務他

### 3 適正警備業務の推進

警備業務の実施の適正を図るため、全国警備業協会、監督官庁の公安委員会(警察本部)、労働局等との緊密な連絡体制を維持して関係法令の解釈・運用並びに適正警備業務の実施に関する指導・指示を受け、その都度、これを文書等により迅速かつ適切に会員宛てに周知伝達したほか、労災事故防止、経営者研修会等の開催、暴排活動への積極的な取組等を推進し、適正業務の実施に努めた。

### 4 社会的地位向上事業の推進

#### (1) 警備員教育の充実

警備員の知識技能の向上を図るため、各業務別の警備員現任教育を前期、後期を通して次のとおり計 6 回実施し、延べ 1 5 8 名が受講した。

現任教育の受講者数は、前年度に比べて 1 6 名減少した。

教育種別	実施月日	受講者数	備考
現任教育(貴重品運搬警備)	6月16日	37名	
現任教育(施設警備)	6月19日	28名	
現任教育(施設警備)	7月26日	23名	
現任教育(施設警備)	10月25日	23名	
現任教育(施設警備)	11月17日	33名	
現任教育(貴重品運搬警備)	12月13日	14名	
計	6回	158名	

(2) 教育幹部等の育成

ア 全国教育幹部研修会への派遣

専務を研修センターふじのへ派遣、研修を受講させ、新任講師講習(3号、4号)の資格を取得させた。

また、伸海エンジニアリング株式会社の山腰利政氏を研修センターふじのへ派遣、研修を受講させ、新任講師講習(1号、2号)の資格を取得させた。

イ 特別講習現任講師研修会への派遣

特別講習現任講師8名(貴重品運搬警備業務1級1名・核燃料物質等危険物運搬警備業務1級1名、雑踏警備業務1級4名・2級2名)を研修センターふじのへ派遣、研修を受講させ、全員が資格を更新させた。

(※ 貴重品運搬警備業務2級1名に関しては、未受講のため資格失効。)

(更新講師)

種別	級	氏名	所属企業
貴重品運搬警備業務	1	河本 隆之	(株)アイビックス
核燃料物質等危険物運搬警備業務	1	坪塚 清孝	(株)オーイング
雑踏警備業務	1	下澤 匡之	(株)法美社
		尾崎 真将	(株)エスライン
		後藤 慎二	(株)エスライン
		谷口 晃	(株)アイメル
	2	高橋 明男	(株)アイビックス
		中野 多恵	(株)アイビックス

ウ 特別講習講師候補者研修会への派遣

新たな特別講習講師(施設警備業務、雑踏警備業務、交通誘導警備業務、貴重品運搬警備業務)を育成するため、研修センターふじのへ2名を派遣し

て受講させた結果、施設警備業務 2 級講師 1 名、雑踏警備業務 2 級講師 1 名、交通誘導警備業務 2 級講師 1 名、貴重品運搬警備業務 2 級講師 1 名がそれぞれ委嘱された。

(新講師)

種 別	級	氏 名	所属企業
施設警備業務	2	伊部 一徳	(株)アイビックス
雑踏警備業務	2	伊部 一徳	(株)アイビックス
交通誘導警備業務	2	松田 隆浩	(株)アイワン
貴重品運搬警備業務	2	白寄 淳也	(株)アイビックス

### (3) 労災防止対策の推進

#### ア 福井県警備業安全衛生大会の開催

平成 31 年第 16 回福井県警備業安全衛生大会を開催（平成 31 年 1 月 17 日）、大会宣言を採択決議し、会員一同が更なる取組強化と平成 31 年中における『労働災害事故ゼロ』への決意を新たにした。

#### イ 福井県警備業協会第 10 回(平成 30 年度)労働災害防止「論文・ポスター・標語」コンクールの実施及び入選作品の表彰

警備員の災害防止に関する意識の改革・浸透を図るため、啓蒙ポスターの掲示を促進したほか、福井県警備業協会第 10 回(平成 30 年度)労働災害防止「論文・ポスター・標語」コンクールを実施し、多数の応募作品の中から優秀作品（論文の部 1 点、ポスターの部 2 点、標語の部 3 点）を選考。入選者を第 16 回福井県警備業安全衛生大会において表彰し、取組意欲の向上を図るなどコンクール等を通じて労働災害防止に対する意識の啓発と安全意識の更なる高揚を図った。

## 5 地域安全確保活動

#### ア 県安全安心まちづくり運動への参加

福井県及び県警察が提唱する「安全安心まちづくり推進会議」に積極的に参画し、推進旬間中に京福バスの車両前面に「11. 1 警備の日」を周知するための広報幕の掲出や、巡回車に防犯広報用マグネット・シールを貼付して、視覚に訴える広報活動を展開した。

#### イ 大規模災害を想定した部隊編成訓練の実施

平成 30 年 10 月 27 日、「一般社団法人福井県警備業協会大規模災害警備

支援隊設置運用要綱」に規定する幹部隊員（特別講習講師）を対象に、大規模災害が発生し、県警察から協定に基づく出動要請がなされたとの想定で、災害支援隊の部隊編成訓練を行った。

#### ウ 暴力団等排除対策活動の推進

当協会は、昭和57年の警備業法改正以降、警備業からの暴力団排除を重点政策として掲げ、取り組んできた。

平成30年度は、6月13日、暴排担当責任者（不当要求防止責任者）講習会を開催したほか、11月2日に敦賀市内で開催された「暴力追放福井県民敦賀大会」に暴追委員長以下30名が参加した。また、11月14日に当協会の暴力団排除対策委員会を開催し、県警察本部組織犯罪対策課の担当官から「県内の暴力団情勢」についての説明を受けたほか、平成31年の活動方針と事業計画（案）を決定した。また、福井県暴力追放センターの理事会等に参画し、最新の暴力団情勢と対策等について情報交換を密に行った。

#### エ 関係機関、団体等との連携及び支援活動の推進

福井県、県警察が主催する会議や県暴力追放センター、県防犯協会等に対する活動支援及び協力を行った。また、福井労働局との連携を密にし、警備員の募集活動を積極的に推進した。

関係機関名	月 日	摘 要	備 考
公安委員会	5. 8	公安委員会受託講習講師担当者会議	副会長、専務、講師
	5.29	経営者研修会（警備業の適正な実施）	会員
	10.29 ～30	安全パトロール	交通委員会、 安全パトロール班
	1.17	経営者研修会（警備業の適正な実施）	会員
県警察本部	6.13	テロ防止連絡主任者講習	専務、会員
	7.12	県テロ対策パートナーシップ推進会議	専務、会員
福井労働局	5.28	人材確保対策推進協議会	総務委員長、専務
	6.10	合同就職説明会	専務他
	7. 7～ 7.14	サマー求人企業説明会	会員
	12. 9	わかもの就職応援説明会	専務、会員
	2.20	高校生に対する就職説明会	専務、会員
	3.21	一般人対象の就職説明会	専務、会員

福井県	5. 21	安全・安心まちづくり推進会議幹事会	専務
暴力追放 センター	5. 15	理事会	専務
	6. 11	緊急理事会	専務
	6. 13	不当要求防止責任者講習	専務・会員
	11. 2	暴力追放福井県民敦賀大会	会員
	11. 14	暴力団排除対策委員会	暴排対策委員
	2. 28	暴力追放センター通常理事会	専務
防犯協会	5. 17	平成30年度(決算)総会	専務
職域防犯連合会	4. 25	職域防犯連合会幹事会	専務
県経団連	8. 28	事務局責任者会議	専務
福井労働局	12. 9	わかもの就職応援説明会	専務、主事

## 6 警備員等の確保（定着）事業の推進

### (1) 警備業界のPR

#### ア 「警備の日」の周知活動

全国警備業協会が提唱する「警備の日」の取組の一環として、福井県安全安心まちづくり推進旬間と「警備の日」までの期間を含む10月から11月の間、福井市内路線バスの車両前面に「11月1日は警備の日」と書かれた広報幕を掲出し、県民の目に留まる形の広報活動を展開した。

#### イ 労働局主催の雇用対策への参画

深刻な警備員不足に対応するため、平成30年5月28日、福井労働局主導の「人材確保対策推進協議会」に入会した。

また、福井労働局との連携を密にし、各種の就職説明会に積極的に参画して来訪者に警備業の仕事内容の概要や社会に果たす役割等をアピールし、警備業界への就職を勧誘した。

#### ウ 機関紙「警協ふくい」の発行

部内機関紙「警協ふくい」100部を年2回（夏季号・新年号）、部内外に発行し、業界内の動向を報じた。

また、女性警備員の確保に資するため、「輝く女性警備員」紹介コーナーを活用し、女性にスポットを当てた広報を行った。

### (2) 警備員の士気高揚

#### ア 警備業功労者等の表彰（平成29年5月30日実施）



(敬称略・順不同)

表彰の種別	氏名	年齢	警備業者名
永年勤続者表彰	山田 豊和	50	(株)アイビックス
	高橋 智宏	44	〃
	堀内 宏晃	54	〃
	橋立 芳広	64	(株)ナスカ敦賀支店
	織田 雅彦	60	福井備蓄保安サービス(株)
優良警備員表彰	大永 竜也	37	北陸総合警備(株)福井支社
	加藤 秀幸	62	〃
	井上 葉子	35	〃
	池田 雅宜	44	(株)オーイング
	高木 元司	55	〃
	山田 登美男	41	〃
	板岡 邦介	71	福井ビル管理(株)
	石井 健一	72	〃
	藤田 隆宏	36	(株)法美社
	渡辺 武彦	40	〃
	坂上 邦夫	65	(株)アイゼン
	谷 清隆	54	(株)アイメル
	荒屋 武利	73	(有)エーエスケー・スタッフサービス
	前川 有也	35	セコム北陸(株)福井統轄支社
	高山 正	40	(株)ナスカ敦賀支店
感謝状	板垣 満夫	76	前. 機械警備業務管理者講習講師

イ 平成30年度健康増進ボウリング大会(平成31年2月16日開催「絆会主催」)  
(敬称略)

開催月日	平成31年2月16日(土)13時30分から			
開催会場	福井市大和田68-1 福井スポーツクラブ WAVE40			
参加者	18チーム54名			
団体順位	優勝	北陸総合警備Aチーム	得点	912点
	2位	法美社Aチーム	得点	901点
	3位	北陸総合警備Bチーム	得点	853点
個人順位	1位	奥田 光生 (株)法美社	得点	384点
	2位	三田村 和幸 北陸総合警備保障(株)	得点	351点
	3位	田口 裕司 北陸総合警備保障(株)	得点	346点

## 7 職場環境の改善施策の推進

平成30年度は、警備員の確保対策として、福井労働局主導の「人材確保対策協議会」に入会し、同協議会の企画による各種取組（サマー求人企業説明会等）を通じて警備事業者の採用意欲の向上と採用方策の改善等に努めた。

その他、各種表彰の上申をはじめ、交通委員会による安全パトロールや労働災害防止「論文・ポスター・標語」コンクール等による労災事故防止意識の啓発向上を通じ、職場環境の改善を促した。

## 8 経営者・幹部研修会等の開催

次の研修会を開催し、幹部職員としての見識と資質の更なる向上を図った。

開催日時（場所）	研修テーマ	受講者
H30年5月17日 （福井市消防局防災センター）	プール監視業務に関し、「普通救命講習」を開催	50名
H30年5月29日 （アオッサ 県民ホール）	県警察警備業担当官による平成29年度の総括との立入検査結果に基づく警備業法運用上の留意点に関する研修会を開催した。	52名
H30年6月13日 （葵分庁舎）	県警察（主催）と県暴追センター（共催）による「不当要求防止責任者講習会」に参加し、暴力団等反社会的勢力からの隔絶と防衛要領を学習した。	38名
	当協会では初となる「テロ防止連絡主任者講習会」を開催し、県警察担当官からテロ情勢及びテロ防止の観点から警備業界に求められることについての講義を受講した。	38名
H30年7月12日 （福井総合運動公園）	県警察の「テロ対策パートナーシップ推進会議」に参加し、重要施設等における警備対策の講演を聴講したほか、施設入場時の手荷物検査要領、県警機動隊によるテロリスト制圧訓練を視察した	専務、 会員多数
H31年1月17日 （ウエル・アオッサ）	県警察警備業担当官による警備業の展望及び平成30年中の立入検査結果に基づく警備業法運用上の留意点に関する研修会を開催した。	51名

## 9 特別講習事業の積極的な推進

### (1) 北陸3県特別講習講師合同研修会への参加

石川県金沢市で開催された平成30年度中部地区特別講習講師合同研修会（北陸3県のブロック開催）に専務及び高橋透主任講師以下、貴重品及び雑踏担当講師9名が参加し、改正された特別講習教本に基づく必要な知識、技能の研さんに努め、各講師の教育能力及び実技訓練技能の向上を図った。

### (2) 特別講習開催状況

特別講習を次表のとおり計6回開催（交通2級・雑踏2級（北三共催＝富山開催）・貴重品運搬2級、施設1級＝各1回、施設2級＝2回）し、受講者総数227名、合格者数165名、1・2級平均合格率は72.7%（前年対比+6.8ポイント）で、全国平均（63%）を大きく上回る実績を収めた。

また、昨年度は受講者数が前年に比べて37名減少した。

講習種別	実施別	実施月日	実施会場	受講数	合格数	合格率
交通誘導2級	事前	4.14・15	免許センター			
	本講習	5.4・5	〃	47名	26名	55.3%
雑踏警備2級 (北陸3県共催)	事前	5.11・12	中企産大			
	本講習	5.19・20	富山開催	12名	11名	91.7%
貴重品運搬2級	事前					
	本講習	6.9・10	石川開催	24名	16名	66.7%
施設警備2級	事前	6.23・24	中企産大			
	本講習	7.7・8	〃	44名	32名	72.7%
施設警備1級	事前	10.27・28	中企産大			
	本講習	11.3・4	〃	48名	38名	79.2%
施設警備2級	事前	12.1・2	中企産大			
	本講習	12.8・9	〃	52名	42名	80.8%
計6回			総計	227名	165名	72.7%
			1級	48名	38名	79.2%
			2級	179名	127名	70.9%

## 10 警備員指導教育責任者等講習の実施

公安委員会から委託された警備員指導教育責任者講習(1～4号)及び機械警備業務管理講習を次表のとおり計5回実施した、受講者総数33名、合格者総数24名で、平均合格率は72.7%(前年対比-7.3ポイント)だった。

講習種別		実施期間	受講者数	合格者数	合格率
1号	新	6.25～7.3	22	14	63.6%
	追	6.28～7.3	1	1	100.0%
2号	新	7.17～7.24	2	1	50.0%
	追	7.20～7.24	1	1	100.0%
3号	新	8.20～8.27	1	1	100.0%
	追	8.23～8.27	2	2	100.0%
4号	新	8.20～8.24	1	1	100.0%
	追	8.23～8.24	1	1	100.0%
機械管理		11.8～11.13	2		100.0%
計			33	24	72.7%

平成 30 年度労働災害防止  
標語等コンクール入選者

【論文の部】

特選 猛暑による労働災害の防止について  
渡辺 武彦 氏 (株)法美社

【ポスターの部】

特選 気を付けて 体が悲鳴 熱中症  
吉崎 緑里 氏 (株)ナイガイ

準特選 労働災害ゼロへ 無事故無違反 みんなの願い・・・  
谷口 晃 氏 (株)アイメル

【標語の部】

特選 怠るな 基本動作と正しい手順  
基本を守って 0災害  
山口 総直 氏 (株)ナスカ敦賀支店

準特選 危ないぞ 注意するのも思いやり  
みんなで作ろう 安全職場  
橋立 芳広 氏 (株)ナスカ敦賀支店

労務委員会委員長賞 気を抜くな! いつでも背後に 事故の影  
岸田 協子 氏 (株)法美社